

漢語自他両用動詞の使役の研究

董尚

名古屋大学大学院国際言語文化研究科

toxiosang814@gmail.com

1. 問題意識

自他両用の漢語動詞の中には、その形で他動詞文を作ることができながら、あえて「させる」という形を用いる場合もある。例えば、「再生可能エネルギーの導入を促進させる」、「研究開発を加速させる」などの表現がある。「加速する」という形で充分であると思われるが、なぜ「させる」という使役を使うのだろうか。本研究では、「漢語させる」の使用環境及び漢語動詞の自他性との関係を考察したい。

2. 先行研究と問題点

2.1 先行研究

森（2007）は漢語サ変動詞について、スルとサセルの置換を論じている。自動詞用法に偏った動詞はスルからサセルへ置き換えるために条件がないのに対して、他動詞用法に偏った動詞は非情物主語の場合が置き換えやすいと言われている。

永澤（2007）は本来形態的な自他の区別がなかった漢語動詞が日本語として定着していくにしたがって自動詞専用化していく強い働きが見られると指摘している。「～する」が自動詞を基本とする場合には、「～させる」を利用することで他動詞としても使うことができる。

(1) *人々を安心する。（「安心させる」の意で）

山田一美・山田勇人（2009）は自他両用動詞の他動詞文において「～する」ではなく「～させる」が使われる要因について考察した。その結果、「～させる」が用いられるのは次の①～⑤の5つの場合であると論じている。

①自動詞寄りの自他同形の漢語動詞が他動詞として使われる場合

「完成する」→「完成させる」

②無生物主語の他動詞文の場合

(2) 分子生物学は生氣論を撲滅させたのか。

主語が無生物の場合、「～する」の形であると、無生物も主語になる場合が多い自動詞文と混同しやすい。この混同を防ぐために漢語サセル動詞が用いられると考えられる。

③修飾関係をはっきり示す場合

(3) 大統領時代に和平に取り組んだ中東紛争については、自身が1978年に実現させたキャ

ンプデービッド合意の重要性を強調し、イスラエルとパレスチナ双方に自制を求めた。

- a. 自身が（1978 年に実現した）キャンプデービッド合意の重要性を強調
- b. （自身が 1978 年に実現した）キャンプデービッド合意の重要性を強調

④動作に意志性を持たせる場合

⑤ヲ格がはっきり明示されていない場合

- (4) 「事故は必ず撲滅させる」との重大な決意で、組合員の安全意識の高揚を徹底するとともに、会社側に万全な安全体制の確立を強く求める。

2.2 先行研究の問題点

2.2.1 漢語動詞の自他性

自動詞寄りか他動詞寄りかについて異論がある。例えば、影山（1996）では「自動詞のみ」とされている「発生」は、永澤（2007）では自他両用に分類されている。永澤（2007）は、現代において「自動詞専用」とした語群の中、「乾燥する」「減少する」「増加する」などは、インターネット上では他動詞用法も散見し、一部の話者は他動詞用法をとどめているとみられる。

判断の基準：中納言から収集した「が～する」「を～する」の用例数を観察して判断する。

2.2.2 「～する」ではなく「～させる」が使われる要因

漢語自他両用動詞に「～させる」を加えて他動性化するという説明だけでは不十分である。他動詞寄りの自他両用動詞の場合、「を～する」形はもともと他動性を持っているけど、「～させる」を加えて使う理由は明らかにされていない。そのため、本研究では漢語自他両用動詞「～させる」と「～する」それぞれの構文を分析して、コントロール性（直接コントロール・間接コントロール）との関連から、その違いを観察する。

3. 漢語自他両用動詞のコントロール性

消失、紛失、焼失、喪失...

- (5)a. 私は先日間抜けなことに、眼鏡を紛失してしまったのだ。
- b. *私は先日間抜けなことに、眼鏡を紛失させてしまったのだ。
- (6) 攻撃者はこの脆弱性を利用して、ほかのユーザーの Office アプリケーションを異常終了させ、保存していないデータを紛失させることができます。
- (7)a. 彼は戦災で家財を焼失した。
- b. *彼は戦災で家財を焼失させた。
- (8) 焼夷弾攻撃は日本の家屋を焼失させるよう工夫されていました。

4. 研究方法と目的

現代日本語書きことば均衡コーパス中納言を利用して、漢語同形動詞の用例を抽出し、「が～する」「を～する」「を～させる」それぞれの用例数を調べる。それによって、漢語自他同形動詞が自動詞寄りか他動詞寄りかを観察する。それから、「を～する」「を～させる」の用例を分析し、それぞれのコントロール性（直接コントロール・間接コントロール）を観察する。

5. 分類

開始：「開始」「開幕」「起動」…

終了：「終了」「完成」「完了」…

変化：「変化」「変更」「変形」…

強化：「強化」「促進」「拡大」…

消失：「消失」「焼失」「紛失」…

6. 「実現」の検索結果

6.1 「を実現する」の例

- ①国際システム自体の安定を協力して追求することによって安全保障を実現するという国際安全保障概念を選好する傾向がある。
- ②彼らは世界支配を実現するときが到来したと読み、石油の確保を急いだ。
- ③そして戦わずして、失われた領土、沖縄返還を実現し、日本の戦後に一つの区切りをつけた。
- ④迂回献金、指名献金を禁止する政治資金規正法の改正を実現することについて、総理の積極的な答弁を求めます。
- ⑤デザインゲームを段階的に実施し、街路整備デザインの策定と景観協定の締結を実現。
- ⑥「ふつうのウェディングケーキじゃイヤ」という発想が生まれ、それを実現してしまうのであろう。
- ⑦一体のシステムとして構築し、安全性、輸送効率及び快適性の向上を実現するとともに、渋滞の軽減等の交通の円滑化を通じて環境保全に。
- ⑧多くの思潮やエコールがつぎつぎと登場し、個性的な表現を実現していった。
- ⑨土井隆雄さんのことを想います。甲府のまちで夢を見つけ、その夢を実現した人がいると思うと、「自分の夢も叶えられる」そんな勇気が。

6.2 「を実現させる」の例

- ①音声・画像（図形、イメージ、動画）・文章・データの複数のメディアを全て実現させることを可能にする。

- ②拠点を東京に移した。飯田には、自分の夢を自分の手で実現させるだけの、行動力と気迫がある。
- ③帰国して2年後、移籍を実現させた。今でも英語には苦勞する。
- ④そういった点を踏まえ対応する。ぜひとも実現させたい。福島氏が沖縄海兵隊は削減できるのか。
- ⑤お客のためだと思ったから、「これは定期預金だ」と言い張って実現させた。三十代はまさに「一“所”懸命」だった。
- ⑥才能ある素晴らしい友が大勢集まってくれています。力を結集し、夢を実現させるために楽しみつつこれからも日々を送ります。
- ⑦あくまでも中国の法規で許される範囲内で自己の自由を実現させなければならぬことは言うまでもありません。
- ⑧貞助技師とともにドイツ航空省との折衝にあたり、DB六百一國産化を実現させた人物で、キセキとは浅からぬ因縁の持ち主でもあった。

6.3 「実現する」と「実現させる」

「実現する」を修飾する対象は安全保障、世界支配、沖縄返還など国際的な課題や政策のものが比較的が多い。それに対して、「実現させる」を修飾する対象は夢、自分の自由、移籍、国産化など個人やグループのものが比較的が多い。

また、「実現する」では「を実現してしまう」、「を実現するとともに」という表現がある。「実現させる」の中で、「ぜひとも実現させたい」「言い張って実現させた」「実現させなければならぬ」という表現が見られる。

7. 今後の課題

漢語自他両用動詞の直接・間接コントロール性に対して中国人日本語学習者はどのように捉えるのかを今後の課題とする。

参考文献

- 張志剛 (2014) 『現代日本語の二字漢語動詞の自他』 くろしお出版
- 佐藤琢三 (2007) 『自動詞文と他動詞文の意味論』 笠間書院
- 永澤濟 (2007) 「漢語動詞の自他体系の近代から現代への変化」 『日本語の研究』 3-4, pp. 17-32.
- 山田一美・山田勇人 (2009) 「漢語サセル動詞に関する一考察」 『大阪女学院短期大学紀要』 39, pp. 19-29